

# 経営マネジメント

## コーポレート・ガバナンス

### ■ 基本的な考え

KYBグループは市場のグローバル化が進展する中、企業価値の向上を図るため、コーポレート・ガバナンスの強化を重要課題として認識しています。また、当社は経営理念の実現を目標に継続的な施策を実施し、ステークホルダーの発展を含めた、社会への貢献を当社の使命と位置付けています。

### ■ コーポレート・ガバナンス体制

当社は監査役会の設置形態を採用し、コーポレート・ガバナンスが有効に機能するように以下の体制を構築しています。

取締役会は7名で構成され、原則として毎月1回開催しています。また、取締役会を法令で定められた事項のほか、経営方針など経営に係る重要事項の意思決定や経営執行の監視機関と位置付けています。

執行役員制度の導入に伴い、経営の基幹に係る重要事項を審議する「執行役員会」とともに、国内関係会社の経営執行に係る重要事項を審議する「国内関係会社経営会議」や、海外関係会社の経営執行に係る重要事項を審議する「グローバル・ストラテジー・コミッティー」さらに、取締役社長自らが工場・現場に出向き、各製品の品質問題ほか経営課題をフォローす

る「社長報告会」などの会議体を設置し、グループ経営監視体制の強化を図っています。

監査役会は常勤監査役4名で構成されており、うち2名は社外監査役です。社外監査役による監査により、実効性のある経営監視が期待でき、有効なガバナンス体制がとられているものと判断しています。

また、社外チェックという観点から、経営監視機能の客観性をより一層高めるために、社外監査役のうち1名を独立役員としています。

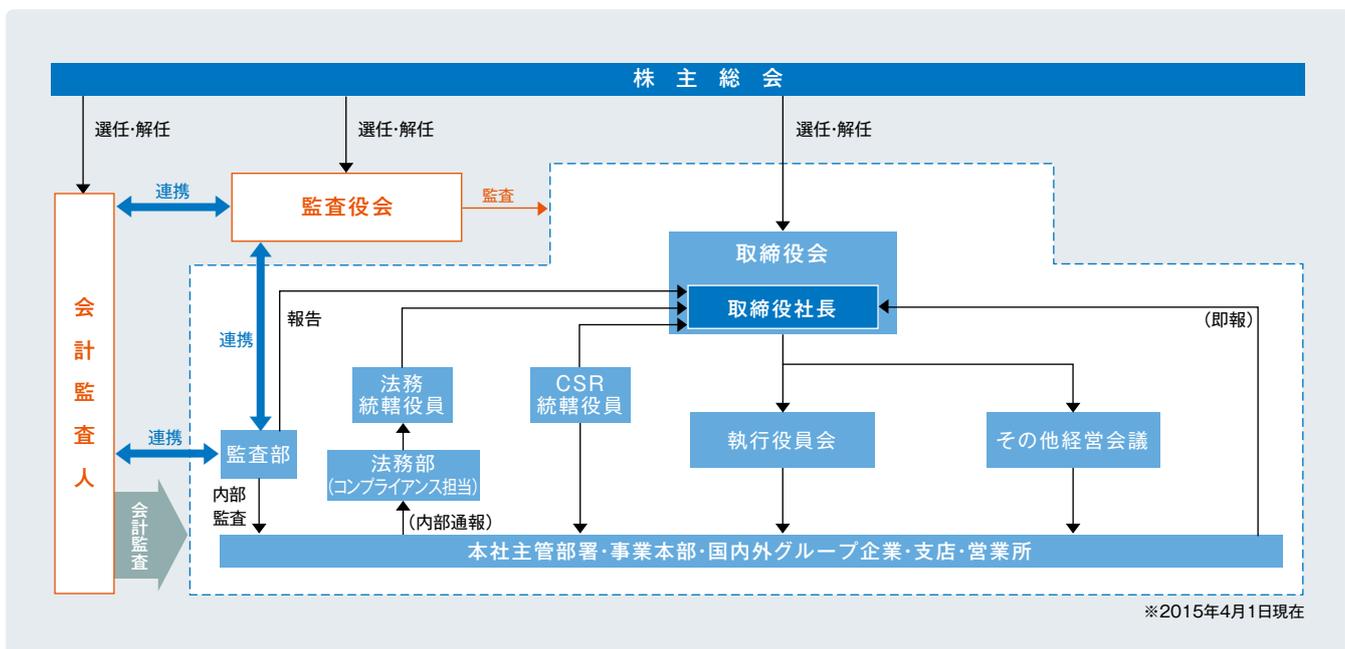
### ■ 企業の社会的責任

事業活動の中で常に独創性を追い求め、お客様・株主様・お取引先様・社会の発展に貢献することを目指しています。また事業活動はステークホルダーの皆様との良好な関係なしには存続することができません。

当社では、経営理念とビジョンに基づいたCSR活動を年度実施項目に掲げ、実践しています。そしてその行動をチェックして、改善、改新のサイクルを継続して実践しています。

従業員は当社の行動指針を携行しており、CSRの重要性の認識を深めています。

### ■ コーポレート・ガバナンス体制



## 内部統制

コーポレート・ガバナンスを有効に機能させる前提として、財務報告の信頼性を確保し、業務の有効性を高め、法令等の遵守を促すために、内部統制システムの整備および内部統制機能の強化に注力することが必要不可欠であると考えています。

具体的には、会社法に基づき内部統制システムの基本方針を取締役会で決議し、リスク管理体制整備、グループ管理体制整備、社内コンプライアンス体制整備等の諸施策を推進しています。

また、金融商品取引法に基づき「財務報告に係る内部統制」の整備・評価を法の定める手続きで行い、財務報告の信頼性を確保するとともに、適正な情報開示を実践しています。

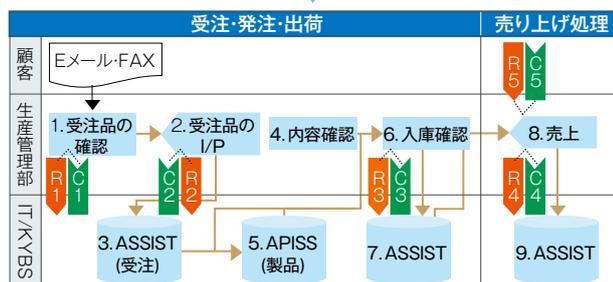
### 「見える化」による自己管理

業務のルールや手続きは、規程・規則・要領に定めていますが、内部統制の業務処理統制ではさらに仕事の流れを図式化しています。そうすることで、これまでは担当者にしかわからなかった業務内容が担当者以外の従業員でもわかるようになります。また、どこかにリスクが存在していないか、チェック機能が有効に働いていて業務のコントロールがされているかを確認・共有できる仕組みを取り入れています。

2008年4月より開始された金融商品取引法による内部統制報告制度に伴い、KYB監査部ではKYBグループの決算に影響を及ぼす可能性があるプロセスについて図式化を推進し、評価を行っています。

#### ■ 業務内容の図式化

業 務	
No. 名称	詳細内容
1 受注品の確認	担当者が品番、納期、数量に間違いや不適切がないか確認
2 受注品インプット	受注品の確認・メール内容を見てインプットする
3 ASSIST (受注)	※販売管理システムでの処理
4 内容確認	担当者が基準日程の中身を確認
5 APISS (製品)	※生産情報管理システムでの処理
6 入庫確認	仕入れ先から部品が納品された後、入庫内容を確認する
7 ASSIST	※出荷データを受け取る
8 売上	担当者が、画面にアクセスし、売上計上の処理を実施
9 ASSIST	※売上実績の集計



## コンプライアンス

「コンプライアンス」は「社会規範である法律・命令・規則の遵守」にとどまらず、企業活動に伴う「定款・社内規程・契約等の遵守」、さらに健全な企業活動を進めるための「企業倫理の遵守」と考えています。

- 1 役員と従業員が企業活動を遂行する上で遵守しなければならないルールとして「企業行動指針」を整備し、法令遵守と企業倫理の確立に努めています。
- 2 役員をはじめ、階層別研修・分野別研修等を通じて、コンプライアンス教育を実施しています。
- 3 全グループ企業を対象とする社内通報制度（即報・目安箱）を整備しています。さらに、公益通報者保護法の施行を受け、専用の通報・相談窓口を設置しています。
- 4 個人情報保護方針を定め、社内規程の整備を行い、社内委員会の設置をしています。社外向けに、個人情報問い合わせ窓口を設けています。
- 5 企業の反社会的勢力排除に関する取り組みが強く求められている中、KYBグループでは、お取引先様が反社会的勢力との関係を有している等判明した場合に、契約を解除し得るように、反社会的勢力との関係を有していないことを書面で確認する等の取り組みを行っています。

### TOPICS

#### eラーニングによるコンプライアンス教育

グローバル化に伴い、海外拠点で働くKYBグループの従業員を対象に、コンプライアンス教育の一環として労務管理教育(eラーニング)を実施しています。



eラーニング画面

それぞれの国の法制度についての学習を行い、現地従業員はもちろん、駐在員も各国で大きく異なる部分がある労務制度について基本的な理解を深め、現地の法令に沿った労務管理の重要性を再認識してもらうことを目的としています。